

【世界史探究】

～ClassPad.net のファイルふせん・手描き機能を活用する～

中世ヨーロッパにおける諸都市と交易路を理解する授業
「交易圏」と「商業と都市の発展」の内容を、交易路を中心に確認する。

【本授業の目的・狙い・到達目標】

教師向けの目標：項目数の多い中世ヨーロッパ諸都市の名称や位置、特徴を今回の授業を通じて網羅的に理解させ、その後の整理の前段階を構築させる。

生徒向けの目標：「北海・バルト海交易」や「東方貿易」で取引されたおもな商品や、それらによって栄えた中世ヨーロッパの諸都市や交易路を把握・理解する。

【ClassPad.net 活用によるメリット】

- ・ **作業内容の即時共有**：指定された地図に直接書き込んだ内容を、すぐに全体に共有することで、授業進行の効率性が向上。
- ・ **共同作業の促進**：ClassPad.net の「手描き機能」を活用し、グループ全体の考えや意思が全体により伝わりやすくなる。
- ・ **発表内容比較の容易化**：各グループの発表内容データを共有することで、手元で比較・検討することが容易となる。

授業の流れ

ClassPad.net での操作

step1

【本日の授業の目標】

- ① 西ヨーロッパの中世都市と商業の特徴をおさえる
- ② 中世諸都市を結ぶ交易路と交易圏を理解する

概要の説明

教科書や資料集にある、中世ヨーロッパの都市とそれらを結ぶ交易路を確認させながら、この都市と交易路について理解を深めるという授業の目標を伝える。

step2

【基本的事項の確認】

- 〈商業の発展〉
 - 農業技術の革新
 - ↓
 - 農業生産力の向上・・・余剰生産物の発生 → 定期市での取引
 - ↓
 - 商業の発展・・・商人ギルド、都市の成立
 - ↓
 - 都市の発展
 - 十字軍をきっかけに遠隔地商業が発達
 - 「地中海交易圏」「北海・バルト海交易圏」
 - 同僚ギルド（ツンフト）の成立
 - 都市同盟の成立 → 「ロンバルディア同盟」「ハンザ同盟」
 - 大富豪の登場 → 「メディチ家」「フッガー家」
 - 各交易圏や同盟に属する諸都市を確認する！

基礎的な事項の確認

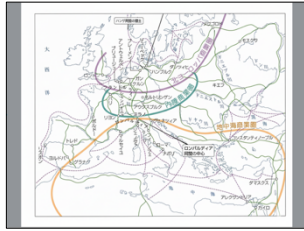
「地中海交易圏」や「北海・バルト海交易圏」、「ロンバルディア同盟」「自由都市」など教科書の太字重要語句を中心に、用語の内容や意味を確認する。

リンクふせんやファイルふせん、教科書や資料集などを活用し、代表的な都市の様子などを示した画像を提示する。

また、EX-word ふせんを使用して、用語の解説もあわせて行う。

※Ex-word 機能は有償になります。別途ご購入いただくことでこの機能はご利用いただけます。

step3



白地図の共有

中世ヨーロッパの諸都市とそれらを結ぶ交易路が示された地図を、生徒全員に共有する。

地図は事前にファイルふせんにしておき、授業支援機能を利用して生徒に送信する。

step4

【グループワーク①】
〈手順〉
(1) グループに分かれる
(2) 各班で以下の課題に取り組む
【課題】
白地図上に示された諸都市の中から5つの都市を選び、それらを結ぶオリジナルの交易路を考える。
のちに各グループは交易路を発表し、互いの考えた正しい交易路を当てる。

グループワーク①

複数のグループを作らせ、教師は各グループに課題内容を提示し、まずはグループ員各自で課題に取り組む。

〈課題内容〉

地図中に示されたいくつかの都市の特徴や様子をヒントに、スタート地点から目的地までの正確な交易路をたどる。

課題が書かれたテキストふせんや、各都市の様子が分かる図を用いたファイルふせんを電子黒板やプロジェクター等で投影し、全体に提示する。この際、ヒントを与えすぎないように注意する。
生徒には、手描き機能を利用して、step3で共有されたファイルふせんに課題の答えだと考える交易路を書き込ませる。

step5

【グループワーク②】
〈作業開始〉
(1) 5つの都市をピックアップし、スタート地点とゴール地点となる都市をそれぞれ選ぶ
(2) (1)でピックアップした都市に関する情報(ヒント)を、各都市最低1つ以上取り上げてまとめる
(3) (2)でまとめた各都市の情報を、交易路をたどる順で並べる
〈条件〉
・Web検索は可

グループワーク②

step4で各人が作成した交易路を、今度は各グループ員同士で共有し、比較・検討したうえで、グループとして一つの答えに絞らせる。

〈条件〉

- ・web検索は不可。
- ・教科書内容の参照は可。
- ・その交易路をたどった理由を明確にする。

step4で各グループ員が交易路を書き込んだファイルふせんを、グループの代表者に授業支援機能で送信させ、同時編集機能でグループ員全員に確認し合わせる。
グループ内で一つに絞ったルートを、最終的に教員に課題として提出してもらう。

step6

【発表・出題】
(1) 各グループが他全グループに対して出題
(2) 出題された側のグループは、各都市に関する情報をもとに、どのような交易路であるかを考える
(3) 各グループで交易路を一つに絞り、代表者が答えの交易路を、根拠を踏まえて発表する
(4) すべてのグループの発表が終了したら答え合わせをする
(5) 最終的に正解数の多かったグループが優勝

内容共有・答え合わせ

各グループが一つに絞ったルートを全員に共有・提示して、全体で比較・検討させる。その後に答えのルートを提示し、そのような交易ルートになった理由を説明する。

課題の提出状況一覧画面を電子黒板やプロジェクター等で投影しながら解説しつつ、特徴的な点や、具体的な諸都市や貿易品を指摘するなどして、クラス全体で講評を行う。

step7

【まとめ・宿題①】
〈地中海交易圏〉
○ヴェネツィア・・・アドリア海沿岸や東地中海の島々を貿易拠点として、**東方貿易**を独占
○ジェノヴァ・・・ヴェネツィアと東方貿易の覇権を争い敗北
○ピサ・・・ロマネスク様式のピサ大聖堂
○フィレンツェ・・・メディチ家保護のもと、**毛織物業**と**金融業**で繁栄
→イタリアルネサンスの中心地

まとめ・宿題

授業内で取り上げた都市のうち、特に入試で出題頻度の高い重要な都市や、そこに関連する歴史的な出来事や背景などの、簡単な振り返りを行う。

最後に「各グループごとに1つの都市を取り上げ、その都市の歴史的な観光名所について調べてくる」という宿題を出す

宿題は、内容が記載されたフォーマットをWord等を利用して作成しておき、ファイルふせんにして、授業支援機能を用いて生徒に送信する。

step8

【北ドイツの港湾都市リューベック】
Q. 都市ハンザの盟主であったリューベックを例に、当時と現在とは、具体的にどのような共通点や相違点があるだろうか？

参考・補足

中世に描かれた絵画などと現在の諸都市の写真などを比較し、共通点や相違点を見出す。また、中世ヨーロッパ諸都市に共通して見られる様子も考察させる。

YouTube 動画の URL を貼り付けたリンクふせんを授業支援機能で生徒に配布し、視聴を促す。
「Luebeck, Germany 🇩🇪 | 4K Drone Footage ¥ Lübeck」
(<https://www.youtube.com/watch?v=lg3K0stm2qg>)